

# 令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 南小倉 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思っております。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

### 1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

#### (1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

#### (2) 質問紙調査

## 運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

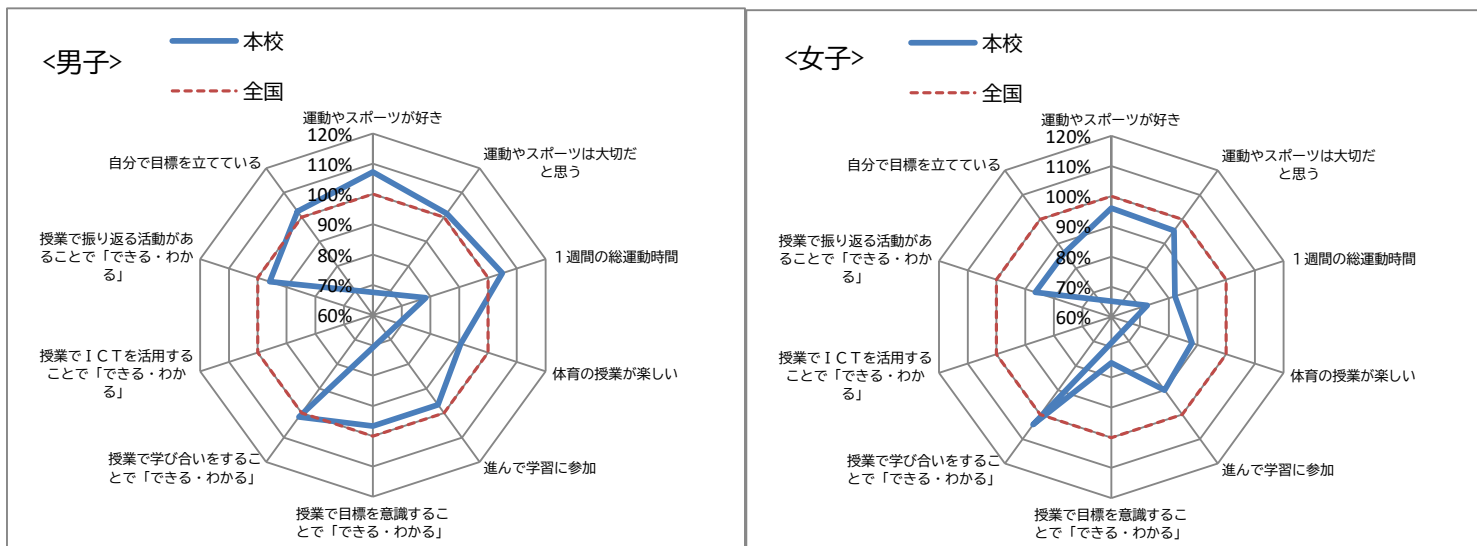
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10
本校全国平均以上の種目		○	○			○		○	

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32
本校全国平均以上の種目		○	○						

### 4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男子は、「運動やスポーツが好きか」「体力や運動能力の向上について、自分なりの目標を立てているか」等の設問において、肯定的な回答割合が全国平均を上回っている。一方、女子では、ほとんどの質問項目で肯定的な回答割合が全国平均を下回っている。また男女共通の課題として、タブレット端末などのICTを活用した授業改善を進めていく必要がある。

## 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

体育科学習において、各学年の課題や単元のねらいに応じた補助的運動を準備運動に位置付ける。児童の主体的・協同的な学びとなるよう、児童に学習のめあてを意識させるとともに、「見合い」「教え合い」の場を設定し、ICT機器を活用しながら児童同士の交流を促すようにする。また、体育の授業が楽しいと思えるように、しっかりと教材研究を行い、指導法の工夫・改善を図っていく。

### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

冬休み前に実施している「持久走大会」に向けて、体育部会や児童の運動委員会を中心とした学校全体での練習期間を設定している。体育科学習と関連付け、マラソンカードを活用するなどして児童の主体性や意欲を維持・向上できるように、今後も継続していきたい。